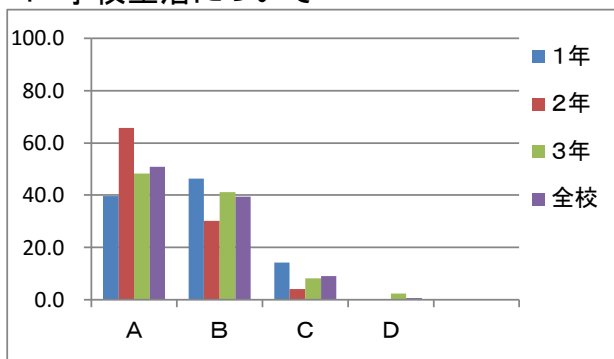


令和2年度 学校評価結果について

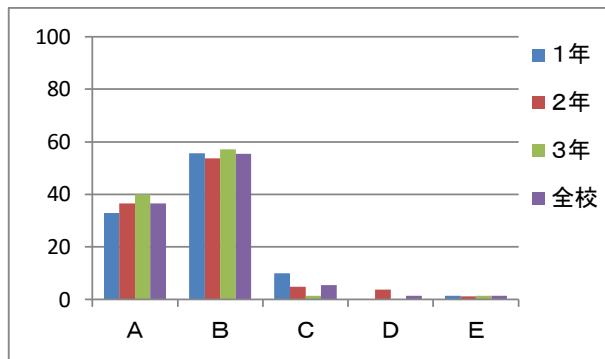
12月に実施しました令和2年度学校評価アンケートの分析結果を掲載させていただきます。
アンケートにご協力いただきましてありがとうございます。

| | | | |
|-------|---------------|-----------|--------------|
| 評価の基準 | A:あてはまる | B:ややあてはまる | C:あまりあてはまらない |
| | D:まったくあてはまらない | E:よくわからない | |

1 学校生活について

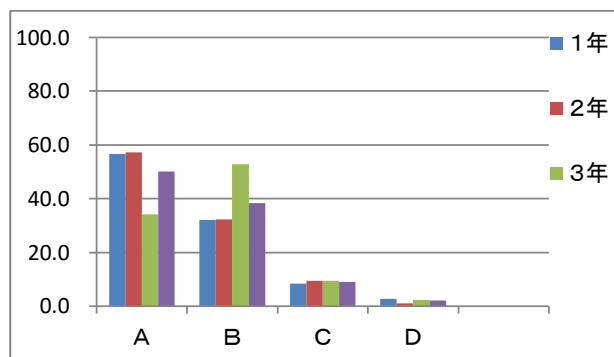


(生徒) 学校へは楽しく通っている。

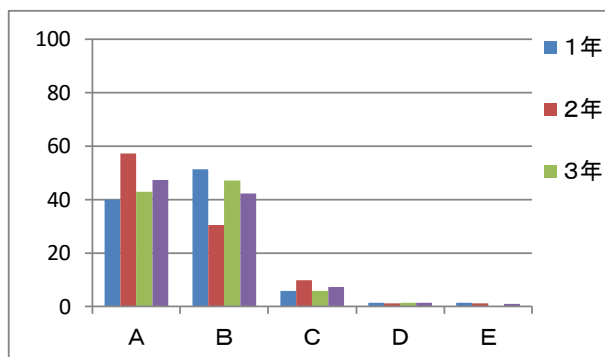


(保護者) 我が子は学校へ楽しく通っている。

〇コロナ禍の中、生徒からは90.2%、保護者からは91.9%の肯定的な回答でした。生徒は人間関係も良好で、楽しく学校生活を送ってくれていることが分かります。

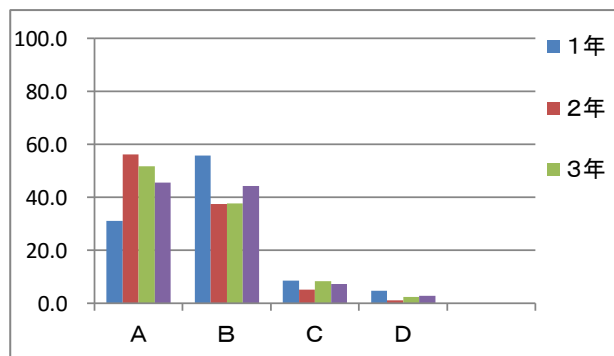


(生徒) 学級活動や委員会活動、部活動に自主的・積極的に取り組んでいる。

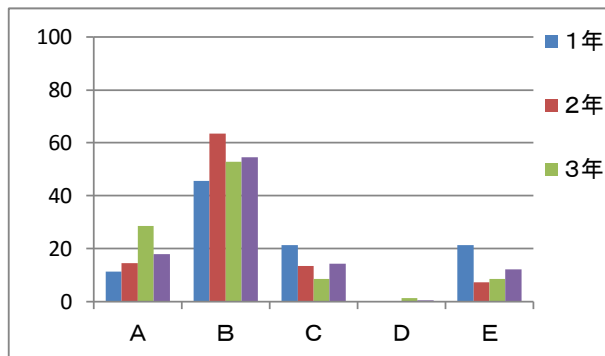


(保護者) 我が子は、学校行事や部活動に意欲的に取り組んでいる。

〇学校行事や委員会活動等制限がある中、自主的に取り組めた生徒が88.5%と高い回答でした。1年生については楽しみにしていた部活動をじっくりと選ぶ時間もなく、なんとなくスタートしてしまったという感否めません。しかし活動が始まると2,3年生が先輩らしく、1年生をよくサポートしてくれたのでどの学年もいきいきと活動していました。



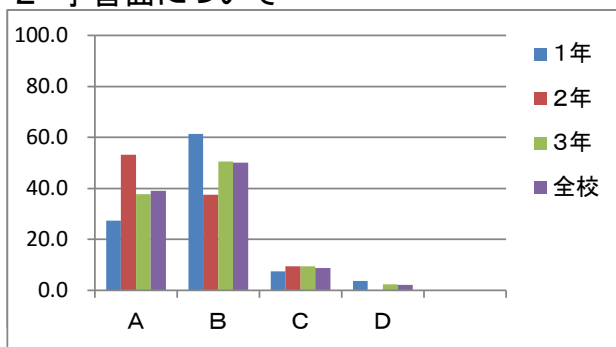
(生徒) 先生は、自分の良いところや努力したことを認めてくれる。



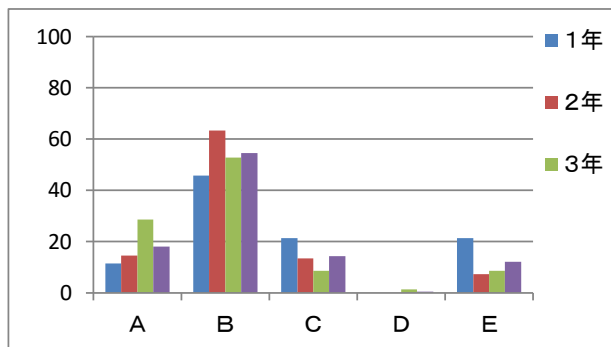
(保護者) 教師は、日常の生徒とのふれあいや教育活動を通して、生徒一人一人に目を向けた指導をしている。

〇本校では、様々な教育活動を通して生徒の良さや努力を積極的に認め、自己肯定感を高められるよう心がけています。今年は生徒が中心になっての活動が少なかったですが、生徒からは89.9%保護者からは72.5%の肯定的な回答を頂きました。

2 学習面について



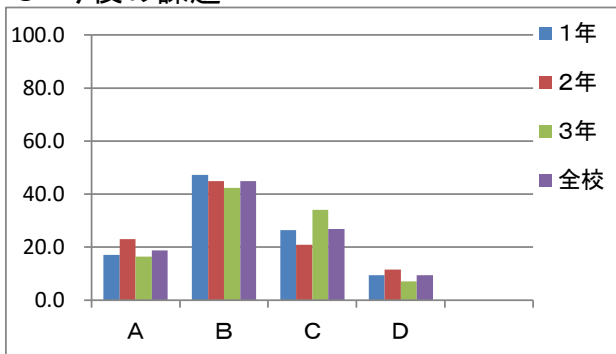
(生徒) 授業がわかりやすく、意欲的に取り組めるような工夫がされている。



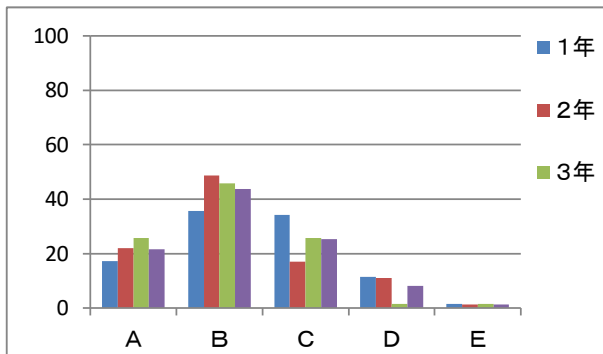
(保護者) 教師は、日常の生徒とのふれあいや教育活動を通して、生徒一人一人に目を向けた指導をしている。

○4月から完全実施される新学習指導要領に示されている「主体的・対話的で深い学び」の授業を意識し、更なる授業改善を目指します。また、各教科ごとに生徒に対して授業アンケートを実施、教員が自分の授業を見直し、わかりやすい授業づくりを考える機会を設けています。

3 今後の課題

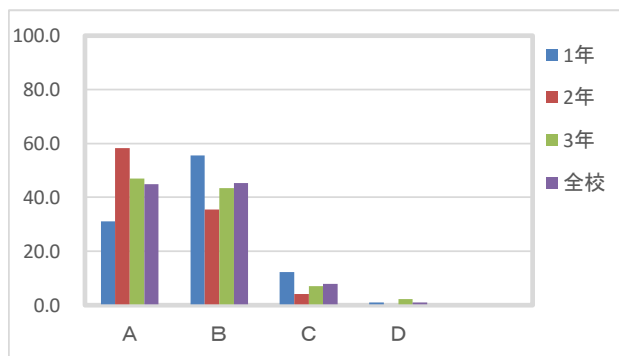


(生徒) 宿題や家庭学習を行う習慣が身についている。

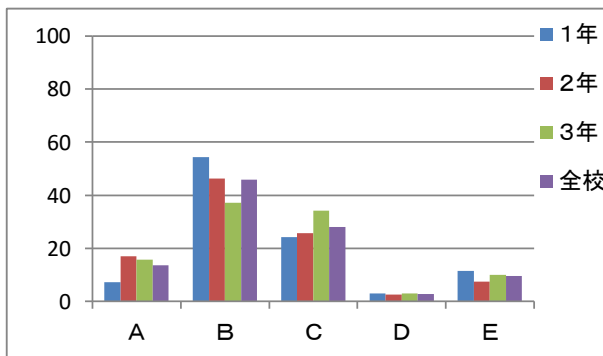


(保護者) 我が子は宿題や家庭学習を意欲的に取り組むようになっている。

○家庭学習の習慣については生徒63.8%保護者65.3%と残念ながらあまり高い数値を得ることはできませんでした。学習したことを定着させるためには、家庭学習で復習や反復練習が不可欠です。ぜひ家庭学習の習慣化にご協力ください。



(生徒) 先生は休校期間中も含めて自分の悩みに答えよう努力してくれた。



(保護者) 学校は休校期間中、学習に対してのサポートをしっかりとこなっていた。

○このように長い休校を経験するのが初めてでしたので、期間中の学習の保障や心のケアなど試行錯誤の連続でした。現在はコロナ禍の中での教育活動を工夫しながら進めています。生徒の心のケアも丁寧に進めてまいります。